

日本産業衛生学会 産業衛生技術部会

個人ばく露測定に関する委員会 第1回委員会議事要旨

日時：2012年11月7日（水）18:30～21:00

場所：EMG マーケティング合同会社 会議室

出席（敬称略）：橋本、山田、保利、熊谷、中原、村田

1. 本委員会の目的、検討範囲、運営について

- ・運営方法：主に会合とメールによる。電話会議の可能性も検討する。
- ・情報公開：検討内容などを技術部会 HP のほか、産衛誌に掲載、来年度の産業衛生学会で中間報告。
- ・成果物は文書としてまとめる。
- ・委員会綱領案の修正

2. 中災防委員会（厚生労働省委託）で検討されている個人ばく露測定方法の概要紹介

- ・全体のフロー：事前調査～デザイン・サンプリング～評価～対策～報告
- ・同等ばく露グループ（SEG）を設定しこれを対象に測定、評価する。
- ・サンプル数は原則5以上。
- ・測定時間：8時間。短時間測定は随時実施（STEL、天井値）
- ・結果評価：X95, Ma を使用しばく露限界値と比較、3区分とする（管理1～3）。
- ・ばく露限界値は ACGIH-TLV と日本産業衛生学会値の低い方を採用
- ・サンプル数が4以下の場合、 $X95 = TWA \times 3$ とする
- ・STEL、天井値に対しても同様に評価し3区分とする。

3. 平成22、23年に中災防が実地調査した個人ばく露測定に関する知見の概要紹介

4. 他のご意見、見解、具体的検討項目の選定

以上